

Dear 【親愛なる】 菅北地域にお住まいのみみなさまへ

Dear 【かわいい】 菅北の子ども達へ

菅北地域活動協議会 広報委員会
〒530-0033 大阪市北区池田町 1-50
菅北福祉会館内
電話：06-6882-4133



町の防犯・防災は、日々の活動から・・・

天神橋筋商店街や天満市場をかかえる菅北地域の「防犯・防災」は、どのようになっているのでしょうか？この号では菅北の防犯・防災の実態を知ってもらい、子どもやお年寄りにも安全な町にするために協力したり、自分自身で備えなければならない物や心構えについて考えます。

年が改まって、早や3ヶ月。年末には、菅北の各町会から「防犯委員」の皆さんが集まって、例年通り、歳末パトロールを行いました。

年末年始は、他地域から買い物に来る人や忘年会・新年会などでお酒を飲みに来る人も多く、犯罪などが起こりやすい期間でもあります。この時期のパトロールは、防犯と火災予防につながると共に地域住民への意識の啓発にもなっています。

また、日々の安全確保のために児童の通学時間帯に「見守り隊」が、通学路に立って子ども達を安全に誘導して下さいます。この活動は、地域全体が安全意識が高く、毎日立っけてくれる人がいるという安心感が地域住民に伝わる素晴らしい活動です。

そして、菅北地域には「子ども110番＝子ども達を守る家」も多くあり、いつでも子ども達を守る体制ができています。

大阪のイメージをいろいろな地域アンケートから見ると

1. 住みたい都道府県では、トップ10
 2. 郷土愛では、ナンバー1
 3. 幸福度が、ワースト1になることが、多いようです。
- 幸福度を上げるには、物価やインフラも大切ですが、町を「安心・安全」にするのが、本当の近道かもしれません。

菅北地域は、大阪の縮図的な町のひとつです。地域の中に有名商店街も住宅も学校もあります。それだけに治安の維持や安全な町づくりが必要不可欠になってきます。子どもやお年寄りが、安心して遊んだり、買い物ができる町をこれからも守るために一人でも多くの地域住民のつながりがある町づくりを目指して行こうではありませんか。

商店街の防犯対策

商店街自転車通行規制を実施！！

JR 天満駅から北へ、天六の出口までは、以前より「午前7時～午後10時」まで、自転車の通行規制がかけられていました。今年の1月31日より、JR 天満駅から南へ、最初の信号まで（四番街）も、あらたに全く同じ時間帯で、同じ自転車通行規制がかけられました。

「規制」というと、押しつけがましさを感じ、取り締まり感を持たれるかもしれませんが、猛スピードで人の間をぬうように走っていく自転車や、スマートフォンを見ながらの自転車って、やっぱり怖いですよね？お年寄りや子どもの安全のために、ちょっと不便ですが、大人が我慢の手本を見せられるといいですね。

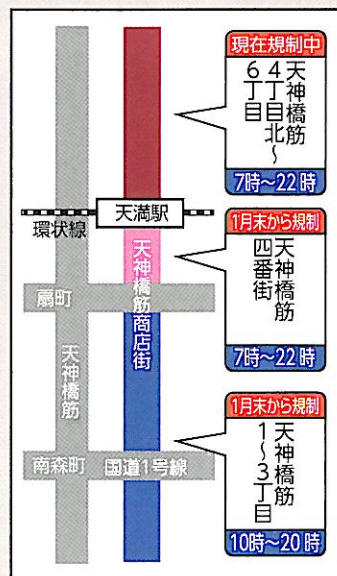
見える防犯・見えない防犯！

天神橋筋商店街のアーケードの柱には、多数の防犯カメラが取り付けられています。カメラの映像は録画され、鍵の掛かったケースでそれぞれの事務所に保管されていますので、誰でも見ることはできませんが、万一の際には、DVD に焼くなどして、警察の捜査にも協力しています。また、一部には「防犯ブザー」もついています。知っておられる方は少ないです。もっともっと、皆さんにお知らせしないといけませんね。



商店街の照明は、どんどん LED に切り替わっており、電気代の節約分は、「点灯時間を長くする」ことで、地域の安全にも寄与しています。朝は、前より早くから。夜は、前より遅くまで。「安心・安全」のために、町を照らしています。

1月末日より、天神橋筋商店街全域に「自転車通行規制」がかかるようになりました。



我が身を守るのは自分自身。



震災が実際に起きた時、どこに避難したら良いのか・・・と考えたことはありませんか？菅北地域では、菅北小学校が一時避難場所となっており、一時避難可能人員は1,650人、収容避難可能人員が700人であり、1回の炊出し能力は400食となっています。
現在、講堂（体育館）の南側1階の倉庫に以下の備蓄品が保管されています。

＜備蓄物資の詳細＞

（平成 26 年 1 月 現在）

品目	数量
水缶詰	1,800 本
アルファ化米（五目・お粥等）乾パン	計 500 食
防水シート	120 枚
ブランケット	50 枚
簡易トイレ（本体）	7 個
日用品セット	120 セット

品目	数量
毛布	300 枚
懐中電灯	20 個
電池 単1・2・3の合計	90 本
アルミ製マット	80 枚
パーテーション（学校と共用）	2 台
救助用資機材（ボール、シャベル、車いす、救急セット、布担架、ロープ等）	



津波にそなえて、1階から4階へ移動させよう!!



（4階の備蓄予定場所）

菅北地区は昼と夜の人口に差が大きく、帰宅難民者への対応も考えなければなりません。そして、一時避難可能人員が1,650人であるのに対して、備蓄されている食料は500食しかなく、各家庭で十分な非常食を確保しておくことが重要です。

我が身を守るのは自分自身。ご家庭や職場の防災用品は充分でしょうか？

2月23日に菅北地域活動協議会による「防災研修と救急救命法の講習」が行われ、約80人の住民の方が参加されました。



消防士になりきって訓練をします



阿倍野防災センターでの体験

まず、午前中は防災研修として、阿倍野区にある大阪市立阿倍野防災センターで、80分の災害体験コースに参加しました。

阿倍野防災センターは地震や火災の状況を模擬的に体験できる施設で、参加者は地震の揺れや火災時の煙中の避難行動などを体験しました。

特に「震度7体験コーナー」で体験した南海地震の揺れは、平成7年に起きた兵庫県南部地震より長く、大きな揺れであり、今後30年以内に起こるとされるこの南海地震に対してどのように備えていくべきか改めて考えさせられました。

午後からは、菅北福祉会館で大阪市北消防署の指導による救急救命講習会が行われ、実際に AED を使った心肺蘇生や三角巾を使った救急処置について受講しました。まだ一度も AED に触れた事のない方は、一度講習会に参加されることをお勧めします。

北消防署の方によると、阪神淡路大震災の時、被災者の2割が自分の力で逃げ、行政機関で救助ができたのは被災者の1割だったそうです。あとの7割は、近所の方々の共助による救助だったそうです。

菅北地域に暮らす住民の皆さんの協力が、災害時には一番大切です。



AED を使った救急救命の訓練（福祉会館にて）



救急救命の訓練（福祉会館にて）



ありんこちゃん達のクリスマス



ベビーカーを押して、赤ちゃんを抱っこして・・・こんな親子が次から次へ。菅北福祉会館の中は、0歳～3歳までの赤ちゃんとそのお母さんが20組以上集まっています。

民生委員が中心となって活動しているありんこちゃんの

集まりです。12月のこの日は、クリスマス会でした。ツリーや音楽で盛り上がっています。そして、保健福祉センターの小林さんから「乳がんの発見の仕方」のお話があったり、北区子ども子育てプラザの人から、「絵本の読み聞かせ」や「パルーンアートの実演」がありました。

誰でも参加申込書に記入すれば参加できます。そして赤ちゃんには名札を付けてもらいます。その名札を見ながら「〇〇ちゃん、おいで。」とベテランのスタッフさんに赤ちゃんを見てもらって、ママ達はしばし情報交換のおしゃべりに夢中です。

「子どもが嫌い。うるさい。」「一人で育てるのがさびしい。」そんな思いも、ママ友が出来たり、地域のお母さんと話すことで気分が楽になります。

この活動には、もう150組の親子が登録しているそうです。



周知活動は、口コミとポスターが中心です。初めてママさんになったあなた、子どもは社会の宝なのです。みんなて明るく元気に育てましょう。



季節の行事～もちつき～

もちつきは昔から正月を迎える大切な段取りのひとつとして、年の暮れの数日間に行われます。ただし、12月29日は「苦」に通じる、26日は「ろくなことがない」といわれ、その2日間だけはもちをついたり購入するのを避ける慣習があります。また地域によっては、29日は「ふく＝福に通じる」と喜ばれる所もあるようです。



12月22日（日）今年度も青少年指導員会主催のもちつき大会が開催されました。

菅北小学校で開催されたもちつきには、児童、保護者、地域住民など約160人、主催の菅北青少年指導員会他各種団体からのお手伝いが40人、総勢200人で、年末の行事、「もちつき」を楽しみました。

- 「何つけて食べる？」
- 「あんこ？」
- 「きなこ？」
- 「つきたてのお餅は、美味しいね！」
- 「今年は、豚汁もあるよ。」



小学校のピロティ下は大混雑です。おもちをつくる人、こねる人、取り分けてくれる人、ほおぼる子ども達。

家庭では、なかなかおもちをつくることなかなかないから年に一度の貴重な体験を子ども達に経験させてあげたい。

そんな菅北青少年指導員会の思いを菅北の各種団体が応援し、この日のイベントが出来ました。

ズームアップ団体紹介

高齢者支援

高齢者食事サービス委員会

「おじいちゃん、血圧測ろうか。」

「おばあちゃん、今日の体調は、どうなん。」

こんな会話で、体調を心配してくれる地域の皆さんは、「高齢者食事サービス委員会」のメンバーです。

今日は、月に1度の食事サービスの日です。テーブルの上には、美味しそうなお弁当が用意してあります。また、この日は菅北小学校の4年生のみんなが、訪れていました。切り絵で会場を飾ってくれたり、歌や踊りを披露してくれたりと心にも美味しいひと時でした。



菅北小学校4年生のみんなが、歌と踊りのプレゼント



机の上にはお弁当と手作りケーキがありました。

代表の友松さんをはじめ食事サービス委員会のメンバーは、今月も元気な顔を見る事が出来たおじいちゃん、おばあちゃんに声を掛けながら、お茶を入れたり、デザートを配っていました。やっぱり、みんなで会話しながら食べる食事は、美味しいですよ。

対象：65歳以上 登録制

※1回あたりの利用料400円は、自己負担となります。

この4月から北区の中学校では、学校選択制が始まります。また、新入生からは給食も開始されます。こうした過渡期を迎える天満中学校に、現役保護者でもある広報委員が直撃取材をしてきました。

緊張感と責任感を持って取り組んでいます。

Q：この春から実施されます学校選択制についてどのようにお考えでしょうか？

校長：選択肢が増えたことと理解いただき、保護者や地域の方々には、今まで通り子ども達を見守り、支えていただきたいと思います。天満中学校を選んでもらっているという緊張感と責任感を常に胆に銘じ、これから手を抜かず進めていこうと思っています。また今後は、様々な課題が出てくると思います。そのメリット、デメリットを学校として対応していき学校を選んでもらうことになると思います。



生駒副校長

月田教頭

高田校長

Q：次に天満中学校の良い所、悪い所、変な所は？

校長：良い所は、朝、扇町公園で立っていると凄く重いカバンを持っている子ども達に地域の方が、「持ったか？」と声をかけてくれていて、地域に見守られているのだと改めて感じる所です。そして、重いカバンが自然と子ども達の体力作りにもなっています。

副校長：子ども達の素直さが良い所ですが、素直すぎて心配になることもあります。そして、全教職員が心がけている学校を綺麗にする、規律を守り、守らせようとする心の取り組みです。

また、天満地域に誇りを持っている所などです。

教頭：悪い所をあえていうと子ども達が、もう少し自分で考えて行動をしてほしい。先生に甘えることなく強くなって欲しい。それもまた教師の課題だと思っています。

教頭：良い所は、学校の周りに飲食店や歓楽街が多いにもかかわらず、子ども達が感わされずに学校生活を送れていることです。

校長：あとの先生も転任されて初めての朝礼の時に不思議に感じたことがあるそうです。朝礼の挨拶の時に「おはようございます。」(1、2、3)「おはようございます」と変な間があるそうです。

初めての時は「えっ!どうしよう?」って、でもそのあとの「おはようございます。」でホッと安心されるようです。

Q：ラジオ体操は伝統なんですか？

校長：ラジオ体操と行進は日々の授業の練習成果です。周りの方達から「天満中学校のラジオ体操は凄い」といわれることが伝統になっている、という事なんだと思います。



天満中学校体育大会



朝の通学風景。扇町公園や学校の周辺には、毎朝、校長先生をはじめ、多くの先生方が立っています。大寒のこの日も子ども達とあいさつを交わっていました。

毎年のように変わる教育行政。その中で、現場の教師も子ども達も対応し、適応していかなければならない。公立高校の学区原則廃止、学校選択制、給食等々、激動ともいえる近年の変革に常に関心を持つことが、教育現場の発展につながると感じる。平成26年度の天満中学校は、校区外から十数名の子ども達を受け入れることとなる。校長が語った「メリット、デメリット」は、直接、子ども達に影響がでることなのかもしれない。

私たち地域住民は、未来を担う子ども達（教育現場）に関心を持ち、学校と教育環境を常に見守らなければならない。

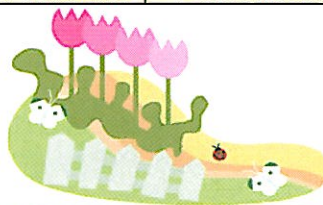
◇お礼

3学期が始まったばかりでお忙しい中、お時間を頂きありがとうございました。温かい気持ちで見守って頂いているのを感じました。厳しく指導されても愛情があれば子ども達は学校になじんでいきます。先生方、これからもどうぞ宜しくお願いします。

平成26年度菅北地域行事予定

月	行事名
4月29日	菅北大運動会 (地域コミュニティ活動)
8月2・3日	菅北一泊キャンプ (子ども・青少年活動)
8月22・23日	菅北カーニバル(盆踊り) (地域コミュニティ活動)
9月15日	敬老の日を祝う会 (福祉活動)
11月3日	はぐくみネット (子ども・青少年活動)
11月8日	秋季子どもハイキング (子ども・青少年活動)
12月21日	餅つき大会 (子ども・青少年活動)
12月26~30日	歳末防犯パトロール (防犯・防災活動)
3月29日	春季子どもハイキング (子ども・青少年活動)

通年行事	
毎月第2木曜日	高齢者食事サービス (福祉活動)
毎月第4水曜日	ふれあい喫茶 (福祉活動)
毎月第1木曜日	ありんこ (福祉活動)
各部で利用曜日決定	学校体育施設開放 (地域コミュニティ活動)



平成26年度 行事・事業予算
 予算総額 ¥5,944,000
 内補助金申請額 ¥1,652,000

編集委員より



今回の主題は「安心・安全」です。

防災研修の記事にもありますが、結局頼りになるのは「ご近所(の人)・地域(の方)」ということなのでしょう。私は、広報紙作りを通して、新たな知己を得ましたが、地域の皆さんが色々な行事に参加され、顔と名前が一致し、道で挨拶を交わす回数が増えるほど安全な社会になるのでは?との思いを強くしました。どうか、広報紙を通じた各種案内がその一助となりますように。N